

令和6年度事業報告書(案)

総括

会員の皆様には一般社団法人沖縄市観光物産振興協会(以下、当会)の活動および事業運営に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、沖縄市経済文化部観光スポーツ振興課をはじめ、文化芸能課、商工振興課など関係機関・団体の皆様からのご支援に対しまして心より感謝申し上げます。

さて、令和6年度は、沖縄市市制施行50周年の節目の年にあたり多くの記念事業が実施されました。当会においても、市政施行50周年記念式典の運営や記念グッズの制作などの事業に携わらせていただきました。また、音市場や沖縄アリーナにおいては、著名なアーティストによるライブが多数開催され、県内外から多くの観客が訪れました。

観光振興事業においては、沖縄市からの補助金や受託事業を含め、多岐にわたる活動を展開しました。次ページの表にあるように県外31か所において誘客活動を行い、沖縄市の魅力を幅広く発信することができました。さらに、観光プロモーション用のショート動画を SNS にて発信し、来訪意欲の向上を図りました。

そのほか、沖縄県の支援を受けて、新たな観光周遊コンテンツ「琉球謎解紀行 in 沖縄市」を開発しました。また、エイサー派遣事業では、兄弟・姉妹都市を中心に多くの団体を派遣し、「エイサーのまち沖縄市」の認知度向上に努めました。

こうした取り組みの成果として、修学旅行をはじめとする各種団体の来訪や、スポーツ合宿、スポーツ大会の開催、撮影等の受け入れが増加し、団体・個人ともに多くの来訪者を迎えることができました。

物産振興事業においても、市制施行50周年関連イベントや兄弟・姉妹都市での出店を通じて、沖縄市の特産品を広く周知し、販路の拡大につなげることができました。

以下、令和6年度に実施した主な事業内容とその成果について報告します。

【主たる活動】

1. 観光振興部門

①誘致宣伝活動

誘客プロモーション事業においては、修学旅行説明会やツーリズム EXPO へ参加しました。そのほか、県外での催事やイベントにおいて出店し、観光誘致活動をしました。

その成果として修学旅行団体132団体(10,690名)、個人まち歩き68組(148名)、モニターツアー47件(175名)、メディア取材3件(10名)、その他2件(51名)の合計252団体・組(11,074名)を受け入れました。

誘致活動実績(表1)

	期日	訪問先	内容	事業
1	5月	東京町田市	フェスタ町田 青年会派遣	エイサー派遣事業
2	5月	東宝スタジオ	映画「宝島」撮影	コザフィルムオフィス事業
3	6月	長崎県	ジャパンフィルムコミッション総会	コザフィルムオフィス事業
4	7月	東京都中野区	中野チャンプルーフェスタ	エイサー派遣事業
5	7月	東京ビックサイト	SPORTEC 出展	スポーツコミッション事業
6	7月	愛知県東海市	沖縄フェスティバル	エイサー派遣事業・物産事業
7	8月	大阪府	沖縄市・豊中市観光列車	物産事業
8	8月	広島国際空港	広島空港主催修学旅行セミナー	誘客事業
9	8月	茨城県水戸市	ドッジボール全国大会誘致活動	スポーツコミッション事業
10	9月	東京都中野区	修学旅行説明会	誘客事業
11	9月	東京・大阪・名古屋	MICE 商談会	誘客事業
12	9月	東京都 観光庁	DMO 全国会議	DMO 事業
13	9月	東京都 長野県	修学旅行説明会(長野)	誘客事業
14	9月	東京ビッグサイト	ツーリズム EXPO ジャパン出展	誘客事業
15	10月	埼玉県大宮市	アウェイツーリズム出展	スポーツコミッション事業
16	10月	愛知県名古屋市中	名古屋まつり	観光コンテンツ事業
17	10月	大阪府豊中市	豊中まつり	エイサー派遣事業／物産事業
18	11月	愛知県東海市	東海秋まつり	物産事業
19	11月	東京都板橋区	遊座大山商店街 エイサー道ジュネー	エイサー派遣事業
20	11月	大阪府吹田市	万博鉄道まつり	物産・誘客事業／観光コンテンツ事業
21	12月	岩国錦帯橋空港	スカイフェスタ 2024	物産事業／観光コンテンツ事業
22	12月	東京都江東区	エコプロ 2024	誘客事業
23	12月	岡山県・兵庫県	修学旅行説明会(兵庫)・岡山キャラバン	誘客事業
24	12月	台北市	台北マラソン EXPO	スポーツコミッション事業
25	1月	神奈川県横浜市	お城 EXPO	観光コンテンツ事業
26	1月	広島国際空港	修学旅行誘致	誘客事業
27	2月	東京都銀座	ロケ地フェア	フィルムオフィス事業
28	2月	茨城県水戸市・土浦市	修学旅行全国旅行会社キャラバン	誘客事業
29	2月	福岡県福岡市	九州旅行博	誘客事業
30	3月	福岡県福岡市	沖縄 MICE・教育旅行セミナー&商談会 IN 福岡	誘客事業
31	3月	東京都	J・Bリーグ・スポーツ庁・各スポーツ団体表敬	スポーツコミッション事業

②スポーツコミッション活動

スポーツ合宿の誘致・受け入れ活動を行い、215団体、延べ人数26,030名を受け入れました。令和6年度もジャパンウインターリーグに参加した野球の中国ナショナルチームの受け入れ対応や、スポーツ庁事業で沖縄市国際ユースサッカー親善フェスティバルを開催し、韓国、台湾のチームのほか、JリーグのRB大宮アルディージャユースを受け入れました。市内宿泊も延べ5,472宿泊となり約38,000千円の宿泊経済効果が生まれています。

そのほか、アウェイツーリズム(OCVB 事業)の出店部分を当会で受け、埼玉県大宮市にて誘致活動を行ったほか、台湾では台北マラソン EXPO へ出店し、おきなわマラソンへの誘客活動を行いました。

その成果として、大宮アルディージャのサポーター305人が沖縄市で行われた試合へ訪れたほか、おきなわマラソンへは台湾から52人(出店関連申込)が参加しました。

③フィルムオフィス活動

映画「宝島」の撮影のほか、WOWOW 連続ドラマ「1972渚の螢火」および FOD連続ドラマ「GOTH」などの大型の撮影、また、バラエティ番組や CM 撮影の受け入れなども99件対応したことから、市内宿泊費が約105,800千円、飲食費用が約9,170千円の経済効果がありました。

尚、放送された作品の広告換算値[※]によると約237,500千円を計上(試算)しました。

※広告換算値(広報・PR 活動によって得られたメディア露出の価値を、同程度の広告出稿費用に換算して表した参考値のことです。

④エイサー事業

エイサーナイト2024の運営や沖縄全島エイサーまつりに関しては、施工管理業務、出店管理、うちわ制作業務などを行いました。そのほか、エイサー派遣業務として、フェスタまちだ(東京都町田市)、中野チャンプルーフェスタ(東京都中野区)、豊中まつり(大阪府豊中市)、遊座大山商店街エイサー道ジュネー(東京都板橋区)などへ市内青年会を派遣しました。

2. 物産振興部門

①全般的な動き

市制施行50周年関連では、兄弟・姉妹都市での出店を行うことができ、会員商品や独自商品を販売促進しました。売上に関しては県外催事販売が昨年を上回りましたが、物産センター店舗、県内催事については下回りました。

②県内催事への参加

エイサーシャツ販売会&沖縄市物産展(沖縄市役所ロビー)、エイサーナイト(市内各地、計4回)沖縄全島エイサーまつり(コザ運動公園)、沖縄市産業まつり(沖縄市体育館)、ちゅ〜ぶ広域産業まつり(沖縄こどもの国)、広島東洋カープキャンプ(コザしんきんスタジアム)などへ参加しました。

③県外催事への参加

沖縄フェスティバル(愛知県東海市)、大阪モノレール観光列車(大阪府吹田市)、花巻まつり[※](岩手県花巻市)、なせばなる秋まつり[※](山形県米沢市)、豊中まつり(大阪府豊中市)、東海秋まつり(愛知県東海市)、大阪万博鉄道まつり(大阪府吹田市)、スカイフェスタ2024(岩国錦帯橋空港)などへ参加しました。 ※花巻まつり及び、なせばなる秋まつりは委託販売

3. DMO活動(DMO=Destination Management Organization の略称)

スマートフォンの GPS 位置情報を利用して観光分析に特化した人流データ・モニタリングツール(おでかけウォッチャー)を活用し、イベントやスポーツ観戦などの行動分析、前後周遊分析を行いました。また、観光ポータルサイト「コザウェブ」を拠点として交通系アプリや顧客予約管理システムを活用して、各システムから検索・予約・決済、移動等のログを収集して来訪者の旅マエ〜旅ナカの動向を可視化できる「観光 MaaS システム運用業務」の事業実施のほか、観光商品の新規開発として「琉球謎解紀行 in 沖縄市」を制作しました。医療ツーリズムについても実際の外国人患者をモニターツアーとして受け入れ、まち歩きやエイサー体験などの市内観光をしてもらいました。

4. 旅行業関連

沖縄市内でロケハン[※]、撮影を行う県外からのスタッフ等の宿泊手配や、一部スポーツ合宿団体、沖縄市国際ユースサッカー親善フェスティバルに参加する県外、海外チームの宿泊手配などを行いました。そのほか、OTS のデジタル DMO を活用しアウェイツーリズム関連のオリジナルパッケージツアーを作成しました。 ※ロケハン(ロケーションハンティング【撮影下見】の略称)

5. ミスハイビスカス事業

沖縄市の観光親善使節として、県内外のイベントなどに多く参加し沖縄市の PR 活動をしました。

令和6年度は選出年度だったことから、委員会を立ち上げ選考基準などの変更を行いました。これまで未婚の女性のみがエントリー条件だったものから、未婚、既婚を問わないことに変更し、名称も「ミスハイビスカス」から「ハイビスカス観光親善大使」とし、3人を選出しました。

6. 財務・経理の透明化の確立

会計の透明化を図るため、月次ごとのC/F(キャッシュフロー)、P/L(損益計算書)を作成し、会長へ報告しています。また、月2回開催している役席会議において、必要に応じて報告しました。なお入出金に関しても複数人により確認、承認する体制を厳密に運用しています。

7. 会員の増減

令和6年度における会員数は159先となりました。

内訳 入会10先 退会8先

8. 会議

会議等については、次のとおり実施しました。

①総会 第56回通常総会

日時 令和6年5月23日(木)

②令和6年度 理事会(表2)

		日 付	場所	備考
1	第1回理事会	令和6年 7月23日	当会会議室	Web 出席含む
2	第2回理事会	令和6年 10月24日	当会会議室	Web 出席含む
3	第3回理事会	令和7年 2月19日	当会会議室	Web 出席含む
4	第4回理事会	令和7年 4月22日	当会会議室	Web 出席含む
5	第5回理事会	令和7年 5月13日	当会会議室	Web 出席含む

9. 外部参加会議

関連団体の会議に70回、そのほか、レセプションに29回、当会が主催・共催・後援した会議に25回、講話などに3回参加しました。

10. 緊急時対応について

①BCP(事業継続)対策

沖縄県や沖縄市が策定した指針に基づき、緊急時には最低限の機能を残しながら事業を継続する仕組みの運営を行いました。

②観光危機管理計画

沖縄市が策定した観光危機管理計画に基づき運用を行っています。また、沖縄県が開催した沖縄県観光危機管理運用図上訓練へ参加しシミュレーションを行いました。

11. 成果目標の達成状況と課題

①成果目標と達成状況 (表3)

	項目	実績値	目標値	達成状況
1	会員入会数	10先	12先	△
2	事業受託			
	①受託件数	6件	6件	○
	②補助件数	5件	6件	△
	③受託金額	69,460 千円	75,000 千円	△
3	物産関連			
	①売上	15,200 千円	11,000 千円	◎
	②収益	11,400 千円	9,900 千円	◎

	項目	実績値	目標値	達成状況
3	まち歩き			
	①人数	11,034 名	12,600 名	△
	②売上	21,419 千円	21,400 千円	○
	③収益	12,819 千円	10,200 千円	◎
4	旅行業関連			
	①件数	6 件	5 件	○
	②宿泊者数	1,286 人	60 人	◎
	③売上	12,556 千円	1,840 千円	◎

②課題

現在の事業運営においては、いくつかの課題が挙げられます。まず、会員増強においては、新たな層の開拓が大きな課題です。事業受託においては、受託規模の拡大や高付加価値事業の獲得が求められています。

まち歩きの受け入れにおいては、集客施策の充実やターゲットの多様化が課題です。旅行業関連においては、滞在型観光への需要喚起や商品造成の見直しが課題です。

これらに加えて、現時点では一定の成果が出ているものの、今後は継続性の確保とリピーター獲得策の強化が重要なポイントとなります。

12. まとめと今後の展望

令和6年度の取り組みについては、沖縄市の観光・物産振興について一定の成果を上げることができました。しかしながら、目標数値に達していない項目については、令和7年度において強力に取り組んでいかなければなりません。

今後は、持続可能な観光商品の開発やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に注力し、地域経済のさらなる活性化を図っていきます。